

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	04-02-03-02
事務事業名	中小企業融資事業		
事業開始年度	S46~	根拠法令・要綱等	中小企業信用保険法、備前市商工振興融資利子補助金交付要綱外
総合計画	大項目 基本目標	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	問合せ先
	中項目 基本施策	起業と創造が支えるまちづくり	担当課(室)
	小項目 施策	中小企業の育成	職・氏名
			電話
			0869-64-1832

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	市内中小企業者
目的(何のために)	市内中小企業の育成、発展
行政活動(どのような方法で)	県信用保証協会等を通じての中小企業者に対する融資。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	市内中小企業の経営の安定、事業の拡大を図る。

事業の実績						
活動実績	実施項目		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	商工振興融資件数		件	180	182	172
	災害融資利子補給件数		件	29	29	28
	商工振興融資残高(3月末)		千円	849,496	793,605	741,189
	直接事業費			5,961	4,326	5,459
	人件費		千円	2,147	2,957	787
	事業費計			8,108	7,283	6,246
	国県支出金					
	受益者負担		千円			220
	一般財源			8,108	7,283	6,026
必要人員		人	0.30	0.39	0.10	
結果指標	結果指標名		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	商工振興融資件数		説明			
	結果指標量	件		180	182	172
	対前年比	%		-	101.1%	94.5%
	活動コスト	円		5,584,800	5,589,000	5,375,000
単位当たりコスト	円		31,027	30,708	31,250	
結果指標	災害融資利子補給件数		説明			
	結果指標量	件		29	29	28
	対前年比	%		-	100.0%	96.6%
	活動コスト	円		1,879,100	1,694,000	871,000
	単位当たりコスト	円		64,797	58,413	31,107

事業の成果			
成果指標名	商工振興融資件数	式又は説明	対前年比
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	180	182	172
対前年比		101.11%	94.51%
到達目標値	180	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えて目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A~E>	B
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	市の産業の根幹をなす2次、3次産業の活性化は不可欠であり、今の景気の状態では事業者だけの努力では、回復は難しく、行政支援は必要である。	
行政活動	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない	効率性評価<A~E>	
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	C	
	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である	課題認識	
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である	補助している団体については、経費削減により効率化を図るよう指導していく。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい		
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい		
	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難		
手	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		
	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている		
職	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている		
	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	有効性評価<A~E>	
	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	C	
	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである	課題認識	
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している	目的達成のためには、さらに効率的な施策も検討していく必要がある。	
	<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業の実施等で積極的に市民意見を反映している		
	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		
	<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		

平成20年度の状況		説明	引続き補助金を交付している。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で真正・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量 180	結果指標量	29
成果指標量	180		

総合評価		評価区分<A~E>	C
中小企業の振興は重要な業務であり、今後も続けていく必要がある。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成20年度で真正・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果